

戦時下における女性の人権

～「日本軍慰安婦」問題に真摯に対峙して～

皮肉にも橋下発言によって注目を浴びた慰安婦問題。
安倍政権下でのねじれ解消によりいっそう右傾化へ危惧が
高まっている今だからこそ、慰安婦の歴史に真摯に対峙し、
戦時下において女性の人権がどう虐げられたか、将来それ
をいかに防いでいくかを考え、今後の女性運動の指針を見
出したい。



2013年11月5日(火)

13～16時(12時半開場)

参議院会館 会議室 B103

東京都 千代田区 永田町 2-1-1.
丸ノ内線「国会議事堂前」下車

※参加者には 12:30 から 13:15 頃まで、参議
院議員会館の入口で入館証を配布します。
大幅に遅れる場合は、予めご連絡ください。

資料代 1,000 円

Coop,Stephanie

(クープ・ステファニー)さん

青山学院大学 非常勤講師

専門はジェンダーの視点からの国際刑事法
紛争下における女性への暴力をめぐる法的
枠組みが研究の焦点

梁澄子 (ヤン・チンジャ)さん

「日本軍『慰安婦』問題解決全国行動」共
同代表

「戦争と女性の人権博物館 (WHR) 日本建設
委員会」代表

通訳・翻訳業、一橋大学等で非常勤講師

外務省

国連決議1325号 国内行動計画作成担当者

◆主催◆ 全国フェミニスト議員連盟 <http://www.afer.jp/link/index.html>

◆問い合わせ◆

メール:info@afer.jp タイトルに「国際セミナー問い合わせ」とお書きください。

電話:090-6704-9996(会津)